

大崎地域を世界農業遺産へ

里地・里山の保全と大崎耕土の恵み⑦
vol.11 「寒冷地での農業に息づく伝統野菜」

大崎耕土では、一大品種である「ササニシキ」「ひとめぼれ」など、日本を代表する米が育まれ、これら良質な米の味を引き立たせるような数多くの食材が生産されてきました。特に、味噌や醤油の原料となる大豆の栽培が盛んですが、地域には、古くから伝統的な野菜も受け継がれてきました。

大崎地域の伝統的な野菜として、「小瀬菜大根(加美町)」や「高城ごぼう(色麻町)」、「上伊場野さといも(三本木地域)」、「鬼首菜(鳴子温泉地域)」などがあります。いずれも栽培されている地域の名称を冠しており、その地で栽培することで独特の風味や食感を生み出すとされています。

加美町の小瀬菜大根は、「幻の大根」と言われています。標高が高く寒冷であり、湧水に恵まれた小瀬地区で栽培することで、みずみずしく、やわらかな葉に生育すると言われています。汁の実や漬物など、冬の食として脈々と受け継がれてきました。

これらの伝統野菜は、地域の気候と土壌に適応し、漬物などの発酵食品への加工や土中保存など、厳しく長い冬の保存食として、重要な役割を果たしてきた大切な作物です。

人々の暮らしを支える伝統的な野菜の遺伝資源は、農業者の暮らしの中で継承され、大崎耕土の豊かな食文化の要となっており、未来へ伝えたい大崎地域の大切な宝です。



▲ 加美町で栽培される幻の「小瀬菜大根」



▲ 大崎市三本木が特産の「上伊場野さといも」

GIAHS
Globally Important Agricultural Heritage Systems

【問い合わせ先】産業政策課
世界農業遺産推進室
☎ 23-2281
sangyo@city.osakimiyagi.jp

4月1日現在の人口(単位:人・世帯)

地域	男	前月比	女	前月比	計	前月比	世帯数
古川	37,930	- 37	39,640	- 25	77,570	- 62	30,314
松山	3,085	- 1	3,236	- 4	6,321	- 5	2,199
三本木	4,031	- 6	4,078	+ 4	8,109	- 2	2,685
鹿島台	5,891	- 19	6,294	- 18	12,185	- 37	4,493
岩出山	5,551	- 22	5,862	- 16	11,413	- 38	4,233
鳴子温泉	3,088	- 17	3,453	- 9	6,541	- 26	2,825
田尻	5,613	- 42	5,800	- 20	11,413	- 62	3,580
市全体	65,189	- 144	68,363	- 88	133,552	- 232	50,329

☎ 市政情報課統計担当 ☎ 23-5091

防火・交通安全

■ 火災発生件数
(3月末日現在・右欄は前年比)

火災種別	件数	前年比
建物火災	13件	+ 6
林野火災	0件	0
車両火災	1件	- 1
その他火災	8件	+ 6
合計	22件	+ 11

■ 交通死亡事故件数
(4月18日現在・右欄は前年比)

項目	件数	前年比
発生件数	0件	- 2
死亡者数	0人	- 2

空間放射線量の測定結果

(単位:マイクロシーベルト/h)

測定日時	地表面から1m	地表面から0.5m
4月18日測定		
市役所第2駐車場	0.06	0.06
松山総合支所	0.05	0.05
三本木総合支所	0.08	0.09
鹿島台総合支所	0.05	0.05
岩出山総合支所	0.05	0.05
鳴子総合支所	0.05	0.05
田尻総合支所	0.05	0.05

☎ 防災安全課 消防担当・交通安全担当・放射能対策室 ☎ 23-5144

今月の納税 納期限:5月31日(火)

軽自動車税	全期	国民健康保険税	第1期
固定資産税・都市計画税	第1期	介護保険料	第1期

☎ 納税課収納担当 ☎ 23-5148

5月号の主な内容

- 3 大崎地域を世界農業遺産へ Vol.11
市長コラム 天地人
- 4 あなたのチカラを必要としています!
大崎市消防団 新入団員募集
- 6 子どもたちを見守り続けた142年
思い出を胸に鹿島台第二小学校閉校
- 7 おおさきコワーキングスペース
「alata」(あらた)オープン
- 8 十年物語 ～おおさき人の軌跡～
宮城県古川農業試験場場長 永野 邦明 さん
シナイモツゴ郷の会理事長 二宮 景喜 さん
- 9 大崎市が進める地方創生①
おおさき婚活支援センター
- 10 市政トピックス 4月の主な出来事
- 11 地域発!お・ら・ほ・の・ま・ち
- 12 オオサキプレイガイド
- 14 危険ブロック塀などの除却助成事業 ほか
- 16 今月のお知らせ
- 26 子育て支援情報
- 27 育児相談・乳幼児健診
- 28 休日当番医 ほか



市長コラム 天地人

「ほくとう」新時代の幕開け!

「シンク・グローバル、アクト・ローカリー(=世界的な視点で考え、地域的に行動せよ)」という言葉があります。その視点で見ると、この度の北海道新幹線開業は、北海道、東北における新時代の幕開けを象徴する出来事でしょう。

本州と北の大地が新幹線でつながり、東北と北海道が一体になることにより、日本の新しい拠点「ほくとう」が形成されます。

世界地図を広げてみましょう。北半球の主な都市は、東北・北海道と同緯度に位置しています。グローバル化やインバウンド(外国人観光客の誘致)が進む時代、「ほくとう」が地理的有利性を発揮すれば、世界的なヒトとモノの流れの要衝になり得ることを示しています。

また、「ほくとう」地域に、仙台・札幌という二つの大都市が併存することになり、多種多様な分野へ相乗効果を生む可能性が出てきます。

さらには、東北と北海道が持つ魅力をより強くアピールできる相乗効果もあります。東北のほのぼのとした風土と人間性、北海道の雄大な自然と開放感。これらが融合することで、首都圏や西日本では決して味わえない「ほくとう」ならではの暮らしや真の豊かさは、新たな価値観を生むことでしょう。

その中で、わが大崎は、新幹線が走り、東北地方の「へそ」的位置にあつて、日本一の渡り鳥の楽園、温泉番付東の横綱、食材王国の首都でもあります。

北海道新幹線の開業により、東北と北海道がつながることは、わたしたちの地域にも無限の可能性や新たなチャンスを与えてくれるはず。自信を持ってチャレンジしていきましょう。

大崎市長 伊藤 康志


4月1日、松山子育て支援総合施設「あおぞら園」の開園式が行われました。

入所する親子や地域の皆さんが見守るなか、3組の入所児童代表の親子と伊藤市長、佐藤市議会議長によるテープカットで開園を祝いました。


あおぞら園は、市内4つ目の子育て支援総合施設で、保育所と幼稚園がそれぞれに担ってきた機能を同じ施設、同じ教室で一貫して行います。また、一時預かり保育や子育て支援センター機能も兼ね備え、松山地域における子育ての拠点機能を担います。

木造平屋建ての地元産木材をふんだんに使ったあたたかみのある内装と、青空に映える5色のカラフルな建物が目印です。


「げんきな子ども」、「やさしい子ども」、「かながえる子ども」を保育方針に、地域の自然環境や伝統文化を生かしながら、家庭や地域と連携し、健康で心豊かな子どもたちの育成を目指します。



1 テープカットで開園を祝いました



2 3 この春卒園した子どもたちによる、可愛らしい踊りや勇壮な舞も披露されました



4 4月からあおぞら園に入所する子どもたちも元気の歌声を響かせました

今月の表紙